

来年度創立
40周年に

日本ヒーブ協議会「新年度公開講演会」

来年度に創立四十周年を

迎える日本ヒーブ協議会

(宮木由貴子代表理事)は

活動
テーマ

「三位一体で描く消費環境デザイン」

四月十四日、消費者庁・岡村和美長官と澤井景子消費者調査課長を招いて都内で新年度「公開講演会」を開いた。今年度の活動方針も報告した。

岡村長官は日本ヒーブ協議会の活動が多面的で柔らかく、男女共同参画をめざしつつ、弱い立場の消費者を支援する視点で実践されていることについて「私自

身、ヒーブの先輩方に多くの勇気をいただいていた」と呼びかけ、日本ヒーブ協議会の活動に期待を表明した。澤井課長は同協議会も参加する「消費者志向経営推進組」の取組を紹介し、「今なげ、消費者志向経営か」というテーマで講演。消費者庁が連携運動を呼びかけることの重要性を説明した。

今年度の活動テーマは「三位一体で描く消費環境デザイン」消費者・企業・行政で紡ぐ次世代の消費社会」。

宮木さんは「三者と連携し、よりよい消費社会を描いていく」と来年度四十周年へ向けた活動方針を説明した。



岡村消費者庁長官などを招いての新年度「公開講演会」(4月14日)

者として役割も発揮している。今後も行政と連携した活動方針を